



高山八幡宮の舞殿から拝殿を望む 生駒市で



高山八幡宮 (生駒市)



高山八幡宮は県最北部の生駒市高山町の富雄川

鷹山氏の氏社で栄え

沿いに鎮座しています。「続日本紀」によりますと、749(天平勝宝元)年の東大寺大仏鑄造完了の際、宇佐八幡宮(現在の大分県宇佐市)の祭神を勧請し、この地に仮の宮殿を設けたのが始まりと伝えられます。

祭神は足仲彦命、誉田別命、息長帯比売命で、鎌倉・室町時代にはこの地の領主、鷹山氏の氏社として栄えました。本殿は三間社流造(正面に4本の柱があり柱間が3つ、屋根の一方がゆるやかな反りをもつて流れるように伸びている檜皮葺き)

で、室町時代末期の建立。座小屋が並んでいます。祭礼を司る宮座は7座あり、降の修理年を示す20枚の棟札が残ります。本殿と棟札は、ともに国重文です。本殿前には拝殿が立ち、前庭の中心には、1

例大祭は毎年10月第3日曜日に行われます。御供上げ(神さまへのお供え)を含む宮座行事は、生駒市指定無形民俗文化財です。

(住所)生駒市高山町12679-1
(祭神)足仲彦命 誉田別命 息長帯比売命
(文化財)本殿・棟札(重文)、宮座行事
(市指定無形民俗文化財)

(交通)近鉄富雄駅から庄田行きバス「高山八幡宮」下車すぐ
(拝観)6〜18時
(駐車場)あり(無料)
(電話)0743・78・1014

(奈良まほろばソムリエの会員 大平芳枝)